



スポーツの秋
第22回
10時間(5時間)耐久レー
マラソン大会~

10月8日(日) 甲賀中央公園で第22回10時間耐久レーマラソン大会が行われました。

この大会は仲間づくりや地域の活性を願い毎年行われ、1周1.5kmの周回コースをリレー形式で走り、10時間または5時間で走った距離を競うものです。

家族や学校、また職場などでチームを作り中には仮装して走るチームもあるなど、楽しい大会となりました。

10時間の部には93チーム、5時間の部には166チームが出場し皆さんはスポーツの秋を満喫されています。

それぞれの結果は次のとおりです。



中には仮装して出場する方も...

10時間の部

- 1位 絆
2位 Teamえらにゃあ
3位 スカイランナーズA
4位 THE!!HEROS2
5位 ダイフック2006
6位 島田組
7位 甲賀パンダーズ
8位 タラオピック&スモールボーイズ
9位 世界ウルルン サンショーズ
10位 TEAM走快屋

5時間の部

- 1位 クラブエイムA
2位 アクシス鍼灸院
3位 二中MAX
4位 シーアイ化成
5位 ソーラーは京セラ2006
6位 NARATrack&Field
7位 N2アスリートclub
8位 モリセイキ
9位 滋賀県庁走友会レーサーズ
10位 ダイキン工業 ピジョンくん

秋の信楽をウォーキング
~甲賀広域しーる&ウォーク~



信楽焼のロクロ実演を見学する参加者

9月30日(日) 信楽高原鉄道を利用して、信楽の自然と文化を訪ね歩く「甲賀広域しーる&ウォーク」が行われました。これは「信楽の郷 歴史ポランテアガイドの会」が主催したもので、当日は良い天気にも恵まれ、約1000人が参加しました。



登り窯跡で信楽焼の歴史を聞く参加者

午後からは江戸時代に使用されていたとされる登り窯跡などで、信楽焼の歴史についての説明を聞いた後、愛宕山に登りました。最後には信楽焼のロクロ実演やオカリナ演奏など秋の1日を十分に満喫されていました。

平和と愛で
まちづくりを!!

ミュージカル「甲賀のさすけ」上演



9月30日(土)、10月1日(日)の両日、忍の里プララでミュージカル「甲賀のさすけ」が上演されました。

これはNPO法人である「甲賀文化輝き」が市内から公募で出演者を募り、4月から練習を重ね完成させたものです。

ミュージカルでは真田十勇士として活躍したとされる猿飛佐助がモデルとなり、甲賀忍術の教えを受けた佐助が十勇士らとともに、各地で起こる問題や事件の解決に向けて奮闘し、様々な経験の中から愛と平和の尊さを知るという物語です。

この日は当日ボランティアも含めると総勢約100人もの

「もったいないから、一粒も無駄にしないよう拾いましょう」「手のあいた人、一人百本拾って〜」と先生方の声が飛びます。お米を収穫するのは一粒でも1年かかるから大事に食べるように、という祖母の言葉が頭をよぎりました。
「どんな味が早く食べてみたい」「予想していたよりずっと早く大きくなった」田んぼの作業は、ほとんどの児童が初めて。どの子もそろえて「稲刈りは楽しかった」とニコニコでした。
収穫したもち米は、新校舎の完成祝いのもちつきに使われるのだとか。校舎の完成がいっそう待ち遠しく感じられることでしょう。

甲賀忍者の猿飛佐助が活躍する物語を迫真の演技で披露する十勇士役の皆さん

厳しい練習に耐え、すばらしい演技を見せる子どもたち



キャスト・スタッフが市内から集まりました。

甲賀文化輝き代表の松島津由子さんは「ミュージカルを通して市民の皆さんに“平和と愛”をうたえたいです。また5つのまちの垣根を取り、より良いまちづくりをしていきたいと思ひます。」と語っておられました。

会場に来られた皆さんは迫真の演技に大きな拍手を送っていました。

“甲賀はひとつ”という気持ちをもってみんなと一緒に甲賀市をつくりあげていきたいですね。

一粒一粒に
思いを込めて

貴生川小5年生児童が稲刈り

ザクツ、ザクツ!小気味の良い音があちこちから聞こえます。次々と稲の束が積み上げられ、アツという間に、8アールの田んぼがきれいになりました。貴生川小学校「わたしの田んぼ」での収穫風景です。次に5、6株ずつ束ねて脱穀。昔懐かしい「足踏式脱穀機」2台を使い、稲穂を「粉」にしていきます。この脱穀機は、足踏式のミシンのようにペダルを踏むことによりベルトが回り、脱穀できる仕組みになっています。長期にわたり活躍してきた農具のひとつです。



今回「田んぼの学校」で田んぼをお借りし、子どもたちとのふれあいに笑顔を見せる中西弥一郎さん

脱穀後の粉を一粒残らず集める児童たち

まちかど特派員 杉山 祐子



信楽「陶器まつり」は大賑わい!!

10月7日(土)から9日(月・祝)までの3日間、陶芸の森及び信楽支所周辺で秋の恒例となった信楽陶器まつりが開催されました。

陶芸の森内にある信楽産業展示館の「信楽陶器総合展」では芸術の秋にふさわしく信楽焼で制作された様々な作品が展示されていました。また、信楽伝統産業会館ではロクロや手ひねりなどの実演、信楽支所周辺に設けられた特設会場では約50ものテントが並び、和食器やたぬきの置物などが通常より安く購入できるとあって、県内外からたくさんの方々でにぎわいました。

3日間での人出は約9万人とのことで信楽を県内外にアピールする絶好の機会となりました。



上: 信楽産業展示館でテープカットをする中嶋市長
下: 多くの人でにぎわった信楽支所周辺の即売会場